

花育てのコツ



1 植える環境の確認

お花を植える場所の広さ（鉢植えなら置き場所）や方角・日当たり・風通し・土のタイプや水はけなどを確認。



その上で環境に合ったお花を選びます。選んだお花がその環境に合うかどうかをお花の好む日当たりや気温（耐寒・耐暑性）、湿度（日本の高温多湿への耐性）などを事前にラベルなどで確認、必要なら園芸店員に聞か、ネットなどで調べてください。



2 土、土の配合

元ある土のタイプ（砂質・粘土質など）を調べて、排水性・保水性・保肥性など足りてない性質を補うため、土壌改良をほどこすこともあります。



プランターの土であれば、花の培養土（ふかふかで軽め）6に赤玉土3、くん炭1程度の割合で基本培土とします。

3 水やり



基本は乾いたらたっぷりを与えましょう。根は土が乾燥していると水を求めて伸びます。ずっと湿った状態の土では、根っこは張るタイミングがなくなります。



乾きの確認は、表面だけでなく、指を第一関節くらいまで挿し込んでみて乾燥を確認。もう1日おいてから水やりしても問題ありません。

植替え後は、土に根が張ってくるまでは、切花状態なので普段の水やりよりは頻度多めに、水を切らさないようにしましょう。



みんなの花壇づくりプロジェクト

（愛称：CO-KADAN コー・カダン）

CO：みんなで、協働で、の意味。

私たち京都光華大学が地域の皆さんと一緒に取り組み、魅力アップに繋がりたいという思いから「光華（こうか）」の音を織り交ぜました。



参加希望・

📧 お問い合わせ
（事務局宛）



情報更新中！



CO_KADAN

主催等

主催：京都光華大学
（社会共創学科／地域連携推進センター）

協力：（公財）京都市スポーツ協会
葛野学区・西京極学区

2025 KYOTO CITY OPEN LABO 採択事業

花と緑でつながる、私たちの公共空間
～みんなで育てる、心はずむ公園づくり～

西京極総合運動公園

みんなの花壇づくりプロジェクト



参加者募集！

西京極総合運動公園を、スポーツを楽しむ場所だけでなく「花と緑を通じてみんなが笑顔になれる場所」へ。
あなたもこの笑顔づくりに参加しませんか？

まちの緑はとても大事!

都会のまんなか、深呼吸できる場所を

ニューヨークのセントラルパークのように、世界中の素敵なまちには、いつも豊かな緑があります。

いま、日本中の公園でも「市民の手で緑を豊かにし、心地よい居場所をつくる」輪が広がっています。

花と緑がくれる「心のサプリメント」

花や緑に触れることは、私たちの心と体に優しい効果をもたらしてくれます。

- リラックス効果：自然のなかで五感を使うと、副交感神経がスムーズに働き、血圧や心拍数が安定すると言われています。
- 心に元気を：「園芸療法」があるように、植物を育てることは回復を支える力になります。
- 忙しい毎日に彩りを：土に触れ、花の成長を見守る時間は、日々の疲れを癒やすひとときに。

歴史ある公園の、新しいカタチ

1942年の開設以来、長く親しまれてきた西京極総合運動公園。ここには豊かな森、芝生広場、ドッグランなど、宝物がいっぱい。この歴史ある公園を「みんなで花を植えて、語り合える場所」へ。スポーツをする人も、お散歩の人も、誰もが主役になれる公園へ。

誰もがフラットにつながる「交流の輪」

この取り組みに、年齢や国籍、立場は関係ありません！地域のみなさん、学生さん、会社員の方、ご近所さん。みんなで協力して花を育てましょう。



今後は
こんな展開を!



例えば

「おしゃピク」スタイル 構築と発信

緑の空間でおしゃべりして、お気に入りの料理やウェア、道具でピクニック。周囲のお店や団体とも協力しながら、西京極総合運動公園をピクニックしたくなる公園へ、学生も交えて一緒につくりましょう！ピクニックは、豊かな社交を生み出し、交流を促進してくれます。



さらに

野鳥育み プロジェクト

緑地では、たくさんの野鳥が観察できます。野鳥を観察し、見守り、学ぶ環境をつくります。アーティストや多様な方と連携しながら、野鳥にも人にも心地よい空間づくりをしましょう！



こんなことも

西京極芸術祭 (仮称) の実施

近隣の子どもたちや多様な方とワークショップを重ね、西京極総合運動公園を舞台とした発表の場づくりをしましょう！西京極だから、運動公園だからこそできる芸術祭を育てていきましょう。



あなたの参加をお待ちしています!

難しい知識は必要ありません。「花が好き」「何か始めてみたい」その気持ちだけで十分です。

どなたでも大歓迎!

ボランティア募集やイベントの情報は、公式SNSで随時発信しています。

まずは見学からでもOK

私たちが活動している姿を見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください。



POINT 1 /

できるときに、できることを

無理なく楽しみながら続けましょう。



POINT 2 /

花が好きだけでもOK

土に触って、育てて、花を愛でてリフレッシュしましょう。



POINT 3 /

最初はゆっくり

最初は何事も練習から。小さなプランターから始めます。